

☪明星【白川小だより】☺

HPで『白川小だより』
をご覧ください。
白川小学校で検索を！

令和2年4月 14日発行
第3号
文責：三谷



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

ようやく暖かい日が続くようになり、花壇のパンジーやチューリップ、植物も成長を続けています。一年生の子どもたちが入学して一週間が経ち、少しは学校生活に慣れてきたように感じます。子どもたちにとっては、一つ学年があがったことや入学してきたことで気持ちを新たに、頑張っている4月であると感じます。

<家庭訪問にお伺いします(宜しくお願ひします)>

先日(4/8)、通信でお知らせさせていただいたように、20日(月)、21日(火)、23日(木)、24日(金)の4日間「家庭訪問」にお伺いします。なお、この期間の校時は短縮6限授業(20日は5限授業)となります。家庭訪問は15:00～17:00に伺わせていただきます。最終下校時刻は、家庭訪問期間中も16:30となります。4月も中盤、1週間が経ちました。家庭訪問は始業式・入学式からあつという間の2週間ですが、子どもたちのご家庭での様子や学校への要望・ご意見等短い時間ではありますが、お話を聞かせていただくよい機会にしたいと思っています。



お仕事などお忙しい中、時間をとっていただきありがとうございます。初めて訪問させていただくお家もあろうかと思しますので、時間には余裕を持って訪問させていただきますが、多少、予定時刻が前後することもあるかと思ひます。ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひ致します。

<学校、PTA行事変更について>←4月17日(金)、27日(月)

先日(4/10)にお知らせさせていただきましたが、依然、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、国内においても感染が拡大しています。当初、4月に予定していましたが、PTA総会及び授業参観(4/17)、全校田植え(4/27)については感染症の拡大防止のため自粛とします。ご理解・ご了知のほど宜しくお願ひいたします。



なお、今後の感染状況によっては、学校行事やPTA行事も変更となることが想定されます。保護者・地域の皆様にはご心配・ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

<2020(令和2)年度 日課について(確認)>

右記は本年度の校時です。
1年生のみなさんは早く時間に慣れて活動できるようにしてください。
行事等の場合は特別な時間帯になることもあります。



	月・火・金(曜日)	水(曜日)	木(曜日)	短縮授業(40分)
朝の会		8:25～ 8:30		
短時間学習		8:35～ 8:50		
第1限		8:55～ 9:40		8:55～ 9:35
第2限		9:45～10:30		9:40～10:20
業間		10:30～11:50	1,2,3,4,5	10:20～10:35
第3限		10:50～11:35		10:35～11:15
第4限		11:40～12:25		11:20～12:00
給食		12:25～13:00		12:00～12:35
休み	13:00～13:30	13:00～13:15		12:35～12:50
そうじ	13:30～13:50		13:15～13:25	12:50～13:00
第5限	13:55～14:40	13:15～14:00	13:30～14:15	13:00～13:40
第6限	14:45～15:30 火・金曜日のみ		14:20～15:05	13:45～14:25
帰りの会	月 14:40～14:50 火・金15:30～15:40	14:00～14:10	15:05～15:15	14:25～14:35
完全下校時刻	【通常】 夏季(3～10月)16:30 冬季(11～2月)16:00			

<School lunch Landscape> ←4月9日(木)

給食2日目、今日のメニューは子どもたちが好きなポークカレー・まめサラダ・わいわいデザートでした。1年生から6年生まで、給食調理員さんが栄養のバランスを考えて、心をこめて作ってもらったカレーを美味しくに楽しそうにみんなで食べていました。1年生の子どもたちに、給食美味しいですか？と問いかけると「美味しいです」と元気な声でかえってきました。



=白川小コラム= 心の扉を開く魔法の言葉

人と人とのふれあいは、言葉によって深まってきます。その最初の一步が挨拶です。挨拶とは、もともと禅の言葉でした。「挨」には「押し開く」という意味があり、「拶」は「迫ること」を意味します。師匠が弟子に問答を迫って悟りを試す、あるいは修行をしている人どうしが問答を繰り返して切磋琢磨するというのが、本来の意味であったと言われています。

これが転じて「人に近づき、心を開く際の言葉や動作」を示すようになりました。代表的なものとしては「おはよう」や「こんにちは」をはじめとする言葉の数々、また、動作ではお辞儀や会釈などが挙げられます。そこには儀礼的な意味もありますが、一般には友好の意思や親愛の情がこもったものと受けとめられています。つまり挨拶とは、自ら胸襟を開き、相手の懐に飛び込んでいくことに通じるのです。

初対面の人を前にしたとき、また、気心の知れた人がいない場所では、私たちはつい身構えてしまいます。そんなときかけられた挨拶の一言で緊張がほぐれ、心が温まったというのは、多くの人が経験しているのではないのでしょうか。挨拶には、固く閉ざされた心の扉も押し開いていく不思議な力があります。私たちは、学校や家庭、職場、地域をはじめとする日常生活の中で、様々な挨拶を交わしています。それは、日常的なものであるだけに、あまり気にとめることはないかもしれませんが、考えてみると人との関係の潤滑油の役割を果たすとても大切なものではないでしょうか。

